

独アキシロスが IoT 市場への参入のため日本オフィスを開設
- TR-069 などの標準規格で IoT デバイス・マネージメントを実現 -

2016 年 7 月 吉日
アキシロス

世界で 200 社以上の大手オペレーター、サービスプロバイダー、OEM メーカーに TR-069 及び IoT デバイス・マネージメント・ソリューションを提供している独 Axiros(本社：ミュンヘン、代表：Kurt Peterhans、以下 アキシロス)は、この度、日本オフィスを開設いたします。

アキシロスは、大手 IT 市場調査会社のガートナー社に 2015 年 IoT Cool Vendor や 2017-2018 年 Top 10 IoT technology Vendor として評価され、また CIO Review による M2M 有望ソリューションサプライヤーやブロードバンドフォーラムにおける 2015 年イノベティブ IoT アワードでも有望企業として評価されている企業です。

日本においては、すでにヤマハ株式会社のネットワーク機器の管理サービス・プラットフォームとして採用されており、M2M や IoT 市場におけるデバイス・マネージメント・ソリューション・ベンダーとして大きく注目されています。

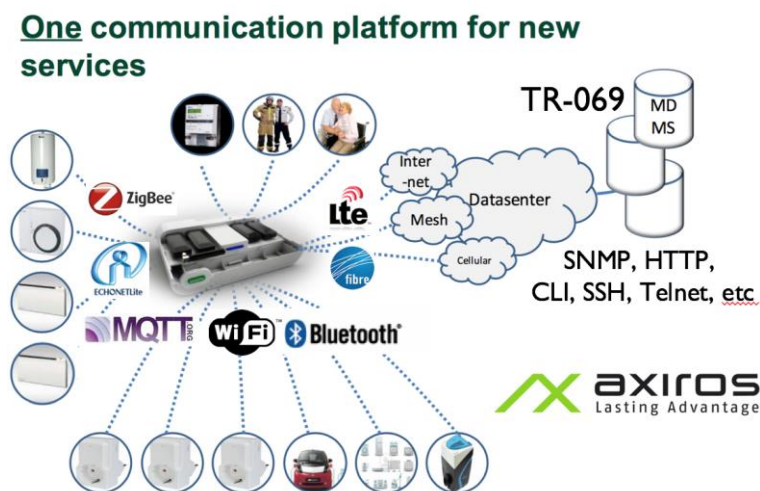
近年、M2M や IoT におけるデバイス・マネージメントの必要性は益々高まっていますが、現在市場で提供されているソリューションの多くが独自方式に依拠しているため、管理したい製品を独自仕様にカスタマイズする必要があり、適用させるためには大きな制限があります。

一方で、アキシロスが提供するソリューションにおいては、TR-069 や SNMP、Bluetooth や Z-wave/ZigBee など標準規格に準拠した製品であれば、カスタマイズする必要がありません。IoT 市場において、ユーザーやオペレーターは、市場で調達できる好きな製品を使用し管理したいというニーズが高く、アキシロスはこうしたニーズに応える最適なソリューションを提供していきます。

今後、TR-069 と IoT をキーワードに、日本のオペレーターやサービスプロバイダ、通信機器 OEM、家電を含む電気機器ベンダー様に弊社製品を展開してまいります。

アキシロスや製品に関する情報の詳細は、アキシロスのウェブサイトをご覧ください。
<http://www.axiros.com>

【アキシロスが提供するサービス概念図】



■日本オフィス開設の背景

ヨーロッパや北米においては、弊社サービスを数多くご採用いただくことができるようになり、通信・サービスに関するもう一つの最重要マーケットである日本への参入をする時期が来たと考え、日本オフィスの開設を決定しました。

■アキシロス Vice President アジアパシフィックセールス 担当 Shaun Rossiter コメント

「日本市場は大きく成長し続けており、アキシロスの日本オフィスの開設により、より多くの日本のお客様に、よりお客様のご要望に合ったサービスを提供していけると考えています」

■アキシロス 日本オフィス シニア・セールス・ディレクター 藤村基晴 コメント

「日本のお客様は、インターネット接続機器の普及によるサポート及び運用コストの増大への対処や、IoT 市場に向けた新たなサービス展開のための投資など、様々な課題を持っています。アキシロスは、そのような様々な課題を1つの標準化対応プラットフォームで解決できるため、日本のお客様に大きなメリットを提供できると確信しています」

■アキシロスについて

アキシロスは、2002年に設立されたドイツのミュンヘンを本社とする、主に固定及びモバイルオペレーター・サービスプロバイダーに向けた、標準規格に準拠した端末・IoTの遠隔統合監視及び制御のためのデバイス・マネージメント・ソリューションを提供しています。アキシロスの製品は導入対象デバイスの数、顧客オペレーターの数において欧州ナンバーワンの実績があり、世界をリードする200社以上の大手通信事業社、大手OEMに採用されております。近年では北米、南米、アジア市場でも採用が増えており、2016年から日本への本格展開も始め、世界をリードする端末・IoTデバイス・マネージメント・ソリューションベンダーとなっています。